

## スクールトピックス



ミズキの木に団子を飾る園児

### 伝統行事の団子さし ひまわりこども園

ひまわりこども園の2～5歳児クラスの園児約240人は1月12日、五穀豊穡や無病息災を願う伝統行事「団子さし」を行いました。

園児たちは、同園の玄関ホールに設置された大きなミズキの木の枝に団子や色紙で作った飾りを丁寧に付けました。園児たちは色鮮やかに飾られたミズキの木を見上げ「きれいだね」、「上手にできたね」と話していました。

### さとうきび親善大使と交流 緑小学校

「さとうきび親善大使」を務める沖縄県中城村立津覇小学校6年生の玉那覇日琴さんと屋宜望愛さんは1月26日、緑小学校を訪れ、クロスカントリースキーや雪遊びなどを通して緑小の児童と交流を図りました。玉那覇さんは「クロスカントリースキーは難しかったですが、緑小の人たちが優しく教えてくれました。沖縄に帰ったら、雪が真っ白でとてもきれいなことを友達に教えたいです」と話しました。



クロカンに挑戦する屋宜さん(左)と玉那覇さん(左か2人目)



宝箱の鍵が入ったカプセルを埋設する児童

### 12年後の自分へ手紙 小学校6年生

第11回猪苗代えとタイムカプセル埋設式は12月20日、猪苗代ハーブ園で行われ、町内の小学校6年生の児童110人が参加しました。式では、猪苗代の子どもの夢を応援する会の鈴木長治会長らがあいさつ。児童を代表して千里小学校の高久浩輔さんと歌川千慧さんが将来の夢を発表しました。各学校の児童代表が、12年後の自分に宛てた手紙などが入った宝箱に鍵を掛けた後、その鍵を入れたカプセルを同園内に埋設しました。



車両を寄贈する渡部実行委員長(左から2人目)ら

### 70周年実行委員会が寄贈 猪苗代高校

猪苗代高校創立70周年記念事業実行委員会は12月21日、猪苗代高校に新しい車両1台を寄贈しました。実行委員長の渡部英一同窓会長と実行副委員長の堀悟後援会長が同校を訪れ、佐藤京治校長に新しい車両の鍵を手渡しました。これまで使用していた後援会所有のマイクロバスが老朽化したため、同実行委員会が普通免許で運転ができる10人乗りのワンボックスタイプの車両を寄贈しました。

## 笑顔でこんにちは



大好きなパパ、ママと一緒に「ハイ、チーズ」

春乃ちゃんの名前には、「穏やかでたおやかな人になってほしい」。そんなパパとママの願いが込められています。

### 藁谷 春乃 ちゃん

平成26年5月生まれ  
～名古屋町  
隆さん・あゆみさんご夫妻の長女

プリンや団子が大好きな春乃ちゃん。「遊ぶのがお仕事です」と話す春乃ちゃんは雪遊びをしたり、ままごとをしたり、毎日元気に過ごしています。お気に入りの遊び道具は、おじいちゃん手作りのキッチンやレジ。首から特製のネームプレートを下げ、気分は店員さんそのものです。

ママのあゆみさんは「私のやることをなんでも真似するんです。話し方まで似てきました」と笑顔で話します。

同年代の友達と一緒に遊ぶのも大好きな春乃ちゃん。4月からはこども園に入園予定。たくさん友達を作って、みんなで一緒に遊べる日を楽しみにしています。

パパの隆さんは「ありのまま、伸び伸びと育ててほしいです」と話し、春乃ちゃんを優しく抱き寄せました。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。

☎(62)2111

## スクールトピックス



Voice

猪苗代高校2年  
工藤 清香さん

初めて献血をしました。今回は年齢制限のため、200ミリの全血献血を行いました。400ミリの全血献血のほうが輸血を受ける患者さんの安全性が高まるそうです。18歳になったら、400ミリの献血に協力したいと思います。



献血協力者に記念品を手渡す笠間優希さん(左から2人目)と伊藤さん(右)

猪苗代高校JRC委員会の生徒4人は12月22日、「全国学生クリスマス献血キャンペーン」の一環として、町役場で行われた献血でボランティア活動に取り組みしました。生徒たちは、広報車で町内の人たちに献血の協力を呼びかけたり、献血をした人に記念品などを手渡したりしました。3年生の伊藤百花さんは「たくさんの人に献血の協力をしていただくと嬉しいので、人のためになると嬉しいです」と話しました。

### 猪苗代高校JRC委員会が 献血協力を呼びかける